１．件　名：中部電力（株）による核燃料輸送物設計変更承認申請（ＨＤＰ－６９ＢＣＨ型、ＴＫ－６９ＣＨＳ型、ＴＫ－５２ＣＨＳ型）に係るヒアリング（３）

２．日　時：令和６年２月２２日（木）１０時００分～１２時００分

３．場　所：原子力規制庁　１０階会議室（ＴＶ会議システムを利用）

４．出席者：（※はＴＶ会議システムによる出席）

原子力規制庁　原子力規制部　核燃料施設審査部門

松本企画調査官、日坂管理官補佐、甫出安全審査官、山後安全審査官、松本安全審査専門職

中部電力（株）

原子力本部　原子力部　設備設計グループ　課長　他４名※

日立ＧＥニュークリア・エナジー（株）

原子力設計部　原子力第三設計Ｇｒ．　主任技師　他１名※

トランスニュークリア（株）

技術部　グループリーダー　他２名※

５．自動文字起こし結果：別紙のとおり

音声認識ソフトによる自動文字起こしによるものであり、誤りを含む場合があります。

一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

６．その他：

【中部電力（株）からの配付資料】

資料　ＨＤＰ－６９ＢＣＨ型／ＴＫ－６９ＣＨＳ型／ＴＫ－５２ＣＨＳ型核燃料輸送物設計変更承認申請に係るコメント回答について

以上

別紙

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	規制庁、田浦です。これから中部電力株式会社等のヒアリングを開始いたします。
0:00:07	このヒアリングについては、音声をじゅして自動文字起こしによって議事内容を公開することになりますので、
0:00:15	非開示不開示情報については、発言をしないように注意をお願いします。
0:00:20	発言してしまった際には、その場でその旨を指摘をお願いいたします。
0:00:26	発言の際には所属と氏名を述べてからお願いいたします。
0:00:31	使わないときに、マイクはミュートにしておいてください。
0:00:36	よろしいでしょうか。
0:00:40	はい、渋谷井口です。はい。よろしくお願いします。
0:00:44	はい規制庁のサンゴです。それではですね本日COOを中部電力側から提出していただいてますので、
0:00:52	これの順番に沿ってヒアリングを進めていきたいと思いますが、
0:00:57	前回ヒアリングの回答がある部分については、ちょっと簡単に中部電力側から説明をいただいた上で進めていきたいと思います。よろしいでしょうか。
0:01:08	はい。中部電力中期です。承知しました。
0:01:12	はい。それ、東急の丹野でそれでは中部電力側からお願いいたします。
0:01:20	はい。長電力地域です。よろしくお願いします。
0:01:24	まずですね資料の方を、の説明をさせていただきます。
0:01:28	資料は先日のヒアリングでのコメントをリストにまとめております。本日はそのうち別準備ができたものにつきまして、この回答のところに記載さ。
0:01:41	しているものについて回答させていただきます。
0:01:45	ではまず順番に説明させていただきますが、ナンバー1 につきましては、コメント通りの対応させていただきます特に認識の
0:01:56	そごはないと思いますので詳細なコメントは割愛させていただきます。2番目の積もりに関しましては、防水機構を有する部位の整備姿勢に留意した品質管理に関しましては、
0:02:11	6 章の 2－7 ポツ 1 に記載しております。これを明確化するため、別記の記載については、記載にしてある通り、下線部の、
0:02:21	申請書に係る別室の通りという記載を追加させていただきます。

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。
※３　一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:02:27	少し入れると、
0:02:29	といって飛びますが、ナンバー15、次のページのところ、規制庁すみませんちょっとよろしいですかね。この 2 番の、
0:02:41	防清木コウの 2 の追ミツイにした品質管理についてなんですけれども、
0:02:47	これ、
0:02:48	衛藤。
0:02:50	製作方法とか、その検査についてっていうのは容器承認の時にもきちっとまた再度説明されるっていうことでよろしいですかね。
0:03:04	はい、説明です。それは問題ない。そのように、
0:03:09	いたします。
0:03:11	A規制庁様ですよろしくお願いします。
0:03:15	続けてくださいましたです。では続いて
0:03:21	№.15 のコメントにつきましてもこれも
0:03:26	前回の時に、すでに認識の相違がないものと理解しておりますので、詳細の説明は、確認さして、割愛させていただきます。
0:03:35	それでは次のページからですね、詳細なし、
0:03:39	回答が、すいません、議長のサンゴでちょっと申し訳ないです。江藤。
0:03:44	3 番のその認識相違はないっていうところで、ただ回答欄、空欄になってるものが送られて、もしかして、そちらこちらで見ている資料違うんでしょうか。
0:03:55	すいません。今説明したのは№.15 の質問で、3 番に関しましては、ちょっと順番間違えます申し訳ない。
0:04:04	すいません。
0:04:06	今、15 番のところは、特に、
0:04:11	ご指摘の通り、記載を追加いたしますので、
0:04:16	そのように対応いたします。
0:04:19	今、規制庁のタイプですけど、すいませんちょっと聞き逃してしまって本当に申し訳ないんですけれども、
0:04:26	資料の順番にやっていくっていう、
0:04:30	すいません東京じゃないですけど、コメントにつきましては、順にやっていきます。つまり資料が飛んでしまうのが 1 ヶ所だけこの№.15 があるので、
0:04:42	それに関しては特に別添の参照していないので、
0:04:46	そこだけすいません今説明させていただきました。

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。
※３　一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:04:52	この後は、すべて別添で順に説明させていただきます。
0:05:08	規制庁の羽根のためなんですけど、今説明が終わったのはナンバー1と 2 と、
0:05:14	15 っていうことです。はい。はい。その通りでございまして、
0:05:20	空白、今回は、
0:05:30	はいきちっとハママツアノくださいよろしくお願いします。
0:05:36	はい。中部電力露木です。では続けさせていただきます。
0:05:40	続いてナンバー4 のコメントにつきましては、
0:05:45	詳細別添の方で説明させていただきます。
0:05:50	別添の 4、
0:05:52	通し番号で 4 ページいただきます。
0:05:55	コメントは疲労評価における許容繰り返し回数について設計ヒロキオク。
0:06:01	疲労線図により示すことをされております。
0:06:05	回答としましては、30 分だと 30 分とボルトの許容繰り返し回数の算出過程を追記する。
0:06:14	いうことと、キロ曲線により、S、
0:06:18	示しします。
0:06:20	回答の
0:06:23	鍵括弧を同省のAポツ、ゴコウ対 4 許容力との比較、次に、と書いてあるところ以降のところが、すべてあと補正案として申請させていただきます。
0:06:37	追加いたしますのは(1)の参事ぶた、この評価の過程と、その次のページに、管理部田野。
0:06:47	繰り返しピーク応力予算を計算結果お示しします。
0:06:52	次の、
0:06:56	図 4－1 に、経費路線図による、
0:06:59	算出も期待しております。
0:07:01	三次ムタの猪評価につきましては、繰り返しピーク応力強さが月 47MPaということで、この
0:07:12	直線をアノさん。
0:07:14	を示してはいるんですけれどもアノず庄野栗城許容繰り返した井清の最大値を、
0:07:23	の 1 ヶ月 10－6 乗許容繰り返し回数として設定しております。

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。
※３　一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:07:29	続いて三次蓋ボルトにつきましては、上記の(1)の式で評価しております。
0:07:37	次のページに行きますが、
0:07:42	表の 4－2、その評価結果を示しております。
0:07:46	30 分とVーヘと、繰り返しピーク及び豊沢 1114MPaになります。
0:07:53	14－2 の路線図で、
0:07:57	許容繰り返し回数を示しておりますが、これに関しましては、このグラフから読み取るわけではなくて、デジタル値を保管して、算出をしています。
0:08:10	その結果が 390 回ということ。
0:08:15	資料、申請書中では 3.1×10－以上というような、
0:08:20	記載をしてございます。
0:08:26	これに関しましては以上になります。
0:08:30	コメン等、
0:08:31	もしございましたらすみません
0:08:34	コメントごとに質疑という形でした方がスムーズかと思いますので、一旦区切らせていただこうと思います。
0:08:45	以上ですか。規制庁ですけども、
0:08:48	中身については、理解をいたしました
0:08:54	要は、
0:08:56	藤。
0:08:57	回数の保守性っていうのは、要は、この 10、
0:09:02	10 回かな。
0:09:05	ここはいいんかな。
0:09:07	これ、すいません。囲みのところというのは、すいません。確認ですけども、機微情報ということになるんでしたっけ。
0:09:18	すいませんちょっと教えていただけますか。
0:09:24	規制庁のサンゴですけれども今、資料、同じものについて、公開用にマスキングされているものと、
0:09:32	そのマッチングしてる部分を枠で示しているものと、ワークがないものと三種類、確認してるんですけどそれでよろしいですよね。
0:09:43	はい。柴崎ツユキです。はい。その通りでございます。すいませんアノはクノ。

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。
※３　一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:09:48	スベントダですねすいませんちょっと見づらくなってしまったところ、申しわけございません。今のですね、現時点の№4までの、
0:09:58	コメント回答につきましては日々情報は含まれてございません。
0:10:03	この、すいません規制庁のホデですけども、炉小Aの5ポツ1ポツ4の許容応力の比較ということで枠囲みしてあるところっていうのは、機微情報ではないということでよろしいですか。
0:10:23	左し、右下7ページ、この
0:10:32	イマイ、
0:10:34	運用、
0:10:36	4ページ目、4ページ目、右下の通しページ7ページで変えていただく。
0:10:44	入社モリちゅそうですね今まだ説明の範囲ではございません。
0:10:51	通し番号コウ。
0:10:54	うん。
0:10:55	通し番号どこでもいいですね。はい。
0:10:58	はい。
0:11:00	江藤規制庁さん、今、説明はナンバー4のところを言っていて、
0:11:08	№4までこういった修正内容で、
0:11:13	コメント趣旨に沿っているかどうか。
0:11:16	というところを確認しているということでいいですかね。
0:11:21	はい。溝口小木曽の通りでございます。
0:11:25	はい。
0:11:27	だからこれで言うA、
0:11:30	この、このコメントの4ページ目か。
0:11:32	で、
0:11:34	要は保守性っていうのは、
0:11:38	網掛け部のところの、
0:11:41	この一基あたり
0:11:45	その10回というところが、保守性という、
0:11:50	ことでいいですか。ていうふうに理解してよろしいですか。それぞれ主要回数を保守性があるんでしょうけども、一応、普通に考えたら、最初、
0:12:04	構内運搬します。最後に払出しますっていうところなんだけども、そこを保守、
0:12:14	保守的に考えて10回にしましたっていう、
0:12:19	10回、1回使えますということでよろしいんですかね。

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。
※３　一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:12:25	規制庁の三田ですけど、ちょっとお待ちください。僕はその 5 番ですよ。5 番、
0:12:30	ごめん。
0:12:31	4 番は諸経費野瀬カセっていったものに対しては、ごめんなさいごめんなさい、このセンミョウ呉野瀬。はい。はい。ごめんなさい。すいません。かわいいか。はい。失礼しました。
0:12:43	でいいですか。はい。いいですよ。野瀬ばいいのテレビ載っていて、規制庁さんがですねNo. 4 についてはですねこういったようにしようと。部署というかグラフでもいいんですけども、
0:12:55	乗っていれば、こちら確認がしやすいのでこれで問題ありません。ただデジタル値を使うっていうのに対して、そちらの説明は少し入れていただいたような方がいいと思うんですけれども、
0:13:11	保管して算出っていうところで説明されてるっていうところもあるかと思いますけども、
0:13:16	その何ていうんですかね。
0:13:20	もうちょっとわかりやすく書いていただければなと思います。
0:13:25	何か
0:13:26	機械学会の参考し文献についてある通りやり方でやってるっていうところがわかるような、何か期待になりませんか。
0:13:37	中部電力露木です。
0:13:40	それにつきましては表の 4－2 の中に 2、今、保管については記載してありますので、そこに少し補足して言われたと。
0:13:50	ところを、
0:13:53	はい、補足説明をちょっと追記するような感じで、
0:13:56	お伝えするようにいたします。はい。規制庁佐藤です今言ったところの趣旨としてはですねその他の方法というのが、中部電力オリジナルでやってるわけではなくて、これも定められ、きちっとコウアノ。
0:14:10	何て言うかね、一般的に使われているというのは定められたもので、もう疑いようのないものだっていうところをわかるようにしていただきたいということですのでよろしくお願いします。
0:14:21	それでは次のナンバー5 の説明をお願いします。
0:14:28	はい。次、渋谷ミツイですとNo. 5、コメント等は、ウタの主要開発について補正を示すことという、

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。
※３　一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:14:38	コメントをいただいてます。これの回答としましてまず改正の設定について説明させていただきます。
0:14:46	3 輸送の
0:14:48	際に、使用するSFAMと三次蓋ボルトですけれども、ここのタイミングとしましては、まず 1 番目として原子炉建屋から、
0:14:58	乾式貯蔵施設への運搬、小浦運搬で使います。
0:15:03	乾式貯蔵施設で貯蔵時には使いませんで、
0:15:08	その長期貯蔵後、②番として乾式貯蔵施設か、再処理施設へ運搬することになりますが、その際の外運搬時に取りつける。
0:15:21	ということになります。
0:15:22	ここでこの①番と 2 番については、1 キャスク当たり 10 回の繰り返しを、を想定しています。
0:15:30	括弧書きで記載してあります通り、ちょうど
0:15:34	長期貯蔵する場合は、これは 1 回と、その時になりますが、ここで保守的に 10 回を想定しております。
0:15:43	また、この参事部担当参事ムタボルトにつきましては、
0:15:48	各貯蔵施設の運用開始後、戸村伊沢 1 セットを調達して、10 機での供用を想定しております。これも踏まえまして掛ける 10 回全う。
0:16:01	トータルで 200 回ということで記載をしておるところです。
0:16:08	これをですね、少し補足する観点で、
0:16:14	当初の 5 ポツ 1 ポツ 4 の記載に、ここは網掛け部を追加することで補正をしようと。
0:16:24	考えております。ここ、ここの枠囲みは、江藤日比情報ではございません。
0:16:30	はい。
0:16:30	はい。ナゴに関しては非常になります、規制庁ホデです。
0:16:35	はい。規制庁のホデですけど。すいません。わかりました。要は上の説明ということで、本当はワンススルーでしかないんだけどもということと次、
0:16:49	その次、
0:16:50	実機で一つを共用しますというところで、
0:16:56	それを 10 回、要は運搬するようなミスミスだったっておかしいそういう姿になるということを、
0:17:04	保守側に想定したという、

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。
※３　一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:17:07	意味合いで、と理解しましたけどその理解で正しいでしょうか。
0:17:14	はい。中部電力露木です。その通りでございます。
0:17:17	了解です。
0:17:19	規制庁の沢村ですけれども、今言った説明のところで、注記データを送付してるっていうところはわかるんですけども、
0:17:27	中身が、長期貯蔵が目的の容器であり、1 回の運搬、
0:17:34	が想定されるが、
0:17:37	保守的に 10 回にしてる。
0:17:39	うん。
0:17:40	ていう期待があるんじゃないかなと思うんですけど。
0:17:43	だからこの、これだけだと、
0:17:48	今一致。
0:17:50	今言った説明の通りにならないような気がするんですけど、どうな。
0:17:56	どうでしょう。
0:18:05	排除分で 6 ツユキです。
0:18:08	趣旨は理解しましたので長期貯蔵の業目的の容器であり、
0:18:14	かつ、通常は 1 回の使用をあるがというような旨の記載を少し、
0:18:21	追加して、補正案を考えたいと思います。
0:18:30	衛藤イセ規制庁さんが、それで保守的に再処理工場への運搬を 1 機当たり 10 回実施する。
0:18:38	ていうことを想定して設定した使用回数っていうふうに繋がるんですよね。
0:18:48	はい。それでフジイです。はい。その通りです。
0:18:52	梅野タナカ君なんですけど、使うのは 1 回、
0:18:56	考えてるけども、保守的に 10 回使うっていうふうにしてるんですっていうことでよろしいですよね。
0:19:07	次の予定です。これ 1 回というのも
0:19:12	ここ決めてるわけではございませんので、
0:19:17	通常であれば 1 回、
0:19:19	ただ容器としては、繰り返し使えることは、
0:19:24	想定しておりますので、
0:19:28	1 回なのか 2 回なのか、その辺は、
0:19:31	まだ決めているところではないのですけれども、
0:19:36	少なくてもこの 10 回というのは、かなり保守的な数字だということを、

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。
※３　一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:19:41	でございます。
0:19:47	なんか細かい、ちょっと細かいところで申し訳ないんですけども、計画回数があって、
0:19:57	それーに対して保守性を持たせて、
0:20:01	回数を例えば 2 倍にして評価しましたとかっていうのはわかるんですけども、
0:20:06	今、この計画変えズー。
0:20:10	ウワー。
0:20:13	結局何回なんですかね、これ。
0:20:19	はい、横関です。経営企画回数は 10 単位で推薦しております。
0:20:26	ただ、すいませんその 10 回に関して、ここに記載のある通り、この 10 回というのはかなり保守的な数字という。
0:20:35	ことでちょっとその 10 回の保守的な数字なんですけど 10 回使ったら保守的じゃなくなりますよね。
0:20:44	10 回使わないっていうんであれば実際の計画回数は何回ですかっていうのを今聞いてるんですけど。
0:21:13	中部電力露木です。
0:21:17	これ運用に何回というのはすいませんまだ決めているわけではないので調査部ですけれども、使用状況を想定した上で経年変化を考慮してくれっていうのが新しい規制要求なので、
0:21:30	どういうふうに使うかっていうのは決まってないって言ったら、そもそも経年変化の考慮の前提が崩れてしまうんですけれども、それで申請してるっておかしくないですか。
0:21:44	渋谷横関です。ですのでそれに関してはここで 10 回というのを想定して、
0:21:50	オチアイ’計画回数が 10 回で、それを保守的にどうしたんですかっていうのを聞いてるんですよね今。
0:22:18	はい。中部電力、築城でございます。今のご指摘に関しましては使用回数 10 回としているのでこの回数、
0:22:28	実際にさらに保守、
0:22:30	静穏を出して、
0:22:33	強化するべきではないかというふうにすいません受けとめております。
0:22:38	ですので、そうするとですね、今回申請、10 回で、

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。
※３　一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:22:44	申請しておるところをここで 10 回というふうに記載してございますので、それについては補正がアノないというふうな、
0:22:54	ご指摘だと考えています。ですのでこの説明につきましては、すいません、次回少し見直しをさしていただきますけれども、
0:23:04	その方針としてはですね、つまり
0:23:08	ここで共用の話を少し書いてございますが、コウもですね、共用の運用、
0:23:18	にも保守性があるところがありますので、
0:23:26	をしてというのはですね再処理工場への運搬時、
0:23:30	いやあ、そのフェーズに入ればですね、基本的には 1 機ごとに輸送するということは考えられませんので、少し追加で購入することになると考えてます。
0:23:43	今はこの想定は、それも、
0:23:47	1 日ずつの輸送で行うような、かなり保守的な回数の計算をしておりますので、
0:23:54	そういうところも少し見込んだ記載で、少し保守性については説明させていただこうと思います。
0:24:04	ドイなります。
0:24:09	規制庁のタゾエそうするとこの今の、
0:24:12	使用回数の説明については、
0:24:15	ちょっと今この内容で確認はできないということでよろしいですかね。
0:24:23	はい。事務局都築です。はいその通りでございます。次回この資料を見直して、また再度説明させていただきます。
0:24:30	規制庁あるのでそれと念のための確認ですけれども、
0:24:38	何ですかね、運搬回数っていうのは、10 回っていうのが計画されてるっていう。
0:24:45	ことで、
0:24:46	最大最大 10 回っていうのを計画されていて、
0:24:50	繰り返し強い応力の評価とかをするにあたっては、添 0 に保守性を乗せて評価し、する方針だっていうことにななる。
0:25:00	いいですか。
0:25:05	はい。中部電力関です。この資料で記載しております通り、10 回、
0:25:13	というものに直接回数をかけるのか、それからこの共用のところの考え方で、少し見直すかは、もう少しすいません考えさせてください。

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。
※３　一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:25:25	規制庁、田村ですけども繰り返し応力の回数って、ここのあたりの数字が多少上下しても、結局、適合性の影響っていうのはもうほぼないっていうのはわかるんですけれども、
0:25:41	経年化を考慮するっていう上で、その使用状況とかそういうのを全部組成し、中オオツカ治療状況を想定した上で、
0:25:50	容器にどういうダメージが入るのかとかっていうのを考えてくれっていうふうに規定要求をしてるのに、今の段階で何かその考え方を、
0:25:59	整理し直すっていうのは、何かおかしくないですか。
0:26:13	はい。中部電力露木です。すいません。それにつきましては使用回数の、
0:26:18	この 200 回の設定というところで、総合して、保守性を見込んで記載していただくところでございますので、
0:26:28	回数の補正としては、
0:26:33	要求沿ったものと考えていたんですけれども、
0:26:36	使用回数のところでの保守性というところが、少し配慮、
0:26:43	が違ったというか、そういった認識でございます。
0:26:47	規制庁角ですけれども。そう。そうするとというか、
0:26:51	そもそもそちらのお考えの中では、最大 10 回だけど 10 回は使わないっていうので、
0:26:59	管理上は 9 回までしか使えませんっていうふうに今ここで言えば、それで十分なんじゃないかと思うんですけど。
0:27:11	はい。中国ツユキです。
0:27:13	それにつきましてはですね少し気にしているところが、
0:27:19	これは野瀬Shareの本文、
0:27:22	のところで使用回数ということで
0:27:25	記載してございますので、
0:27:28	ここ 9 階にするとそちらの、
0:27:32	方も流会につく必要があるのかなっていうところで、ちょっと考えておりました。
0:27:39	すいません規制庁の方でですけども、
0:27:46	先ほど何とか、いいかというようなことをちょっと申し上げましたが、保守性が入ってんだなっていうことなんですけども、
0:27:56	考え方としてですね。
0:27:58	要は、1 回の輸送で

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。
※３　一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:28:04	例えば何、例えばこれだったら、何、何回、何回、
0:28:09	使う、これこれで何回使う、実際の輸送計画回数は、バスマツダから南海と想定されるってまずここで切れるんですね。
0:28:23	その想定回数を踏まえて保守的に、疲労評価においては、バスバス解をと設定し、亀裂はソウノないことを評価するっていうふうな感じでまとめていただければ、
0:28:37	よろしいんじゃないかなと思います。ですから、そこの、
0:28:41	最後の設定するがね、200 回で今までにするんであれば、前の計画回数どういうふうに見るのかっていうところもあるでしょうし、例えば幾つで共用して、1 回当たり、
0:28:53	1 度の輸送当たり何回こう繰り返されて、というところがそれぞれ想定されて、その上で、保守的にこの
0:29:05	先ほど言ったその保守側に設定したそれを上回る累積の回数に対して、亀裂破損の内容、これが設定する回数、
0:29:14	想定する回数、計画する回数と設定する回数というふうに分けて考えていただければいいんではないかなと思います。以上です。
0:29:24	規制庁アノ、それと対カーしますけれども、その使用計画回数を修正するか使用計画回数に沿ってタダ、評価上の回数を保守性を持たせるかは、どちらでも構いませんので、
0:29:39	工程の時にそれは反映してください。
0:29:42	以上です。吉井君。
0:29:48	はい。それでは次の方をよろしくお願いします。
0:29:56	はい、山根宇津木です。それでは江藤難波 6 のコメント回答に移らさせていただきます。
0:30:03	コメントとしましては、コガアライの接続部の評価について、
0:30:08	生活も荷重によりねじ山がつぶれないことを示すことと、
0:30:13	等でございます。
0:30:15	回答としましては、
0:30:18	今回ですね申請書、これ共通の回答といたしますけれども、
0:30:25	現状はですねせん断の応力の評価結果を記載しております。
0:30:30	し、
0:30:32	ライオンの機能につきましては、輸送のつり作業中に、
0:30:38	落下転倒を抑え、しない。
0:30:42	外間アノプラン 4 が外れないということが要求されております。

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。
※３　一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:30:48	続いて 2 ポツのトレーニングのネジ部に発生する応力について、図 6－1 で説明させていただきますが、
0:30:58	通し番号が 9 ページになります。
0:31:02	シェア等力はですね、とか 10 クリタ等は、
0:31:08	荷重が下からかかるような例で示しておりますけど、その荷重の方向と同じ方向にシアトウカが片側のみ。
0:31:17	で発生するものになります。
0:31:22	ですので、力の発生方向として考えまして、このシェア等努力により、トラニオンが外れるということは考えにくいと。
0:31:32	ところで、このトラニオンが外れるか否かというところでは、このせん断力が支配的になると。
0:31:40	いうふうに考えております。
0:31:43	以上より、この
0:31:45	ポイントに関しましては、市シアツではなく、せん断のみの評価で十分ではないかというふうに回答をさせていただきたいと考えてます。
0:31:58	はい。以上であります。
0:32:00	はい。規制庁、どうぞ。はい。規制庁の方でですけども、ちょっと説明がよくなかったみたいでこちらちょっとお詫び申し上げますけども、
0:32:11	こちらが気にしたのはですね
0:32:14	どうでしょう。これ何ページかな。
0:32:18	この資料の 6 ページ、通しで 9 ページのところの図を、数が示されてますよね。ねじ部の応力評価断面とかっていうこと。
0:32:31	シアツで、これ全面で受けたら当然こんなん絶対平気やってな、理解できるんですけれども、
0:32:38	少し気にしたのはこのせん断応力、下の方でいうと、回転モーメントが生じることによって、せん断が起きますねということと同時に、どういう、例えばここで、
0:32:50	この回転が起こったら、
0:32:53	というか荷重がこうかかったらですねせん断が起こるっていうことは、このねじアノーつーつをね、見たときに、
0:33:01	梁みたいな形になるかなっていうふうにもちょっと見えるわけですね要は、

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。
※３　一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:33:07	せん断応力っていうのはネジ山の麓にかかる山の元ですね、もとのところにかかる応力がどうですかっていうことを評価されたということでこれは理解いたします。
0:33:21	で、もう一つは、面と弁が当たるんで、このねじのね、ネット面が当たるんでそこがへ足りませんかとか、要はこの状態がずっと貯蔵期間中、貯蔵期間中を踏まえてですね輸送も踏まえて、
0:33:35	つぶれませんかということをちょっと確認したかったというのが、技術だから、この 4 月の面でこのシアに自分の応力評価断面としてシアツということであって、
0:33:46	この目地アマノ山の表面ですね、山の表面が、そのところの回転モーメントがこの荷重を受けたときに、潰れるようなことはありませんねということをお示しいただきたいというのが、こちらの意図でございました。ちょっとこれは、
0:34:02	申し訳ございません。こちらお詫び申し上げますけども、ちょっとそこをねちょっと見教えていただければと考えております。以上です。
0:34:16	日立GEの小林でございます。
0:34:20	今ご質問のあったですね、まさにそのネジ山の表面のことをご質問されているのかなと。
0:34:32	思うんですけれども、確かにですね、このせん断荷重と 4 月荷重がかかった場合には、まず、ねじ山の表面に対して
0:34:44	荷重がかかるということは明らかでございますけれども、それがですね、結局はは逆側の大山
0:34:55	ここの図で言いますと、コヤマの右側に圧がかかれば左側にもかかるということで、結局材料ニッタ材料はですね、現道がなくてですねどこに荷重が集中するかというと
0:35:10	ネジ部の応力評価断面にシアツ応力として垂直応力が発生する、せん断応力が発生すると、なぜこの断面かと言いますと、トラニオンと、
0:35:22	その容器の材質IIをオオノ、硬さを比較するとですね。
0:35:28	容器側の方がやわらかいので、結局その一番、せん断しやすいのが容器のネジ山の麓の断面となります。
0:35:40	なので最終的な荷重で一番厳しく応力が発生する断面を、を選択するところの緑の線で示した応力評価断面となると。
0:35:54	いうことでこの評価断面を、を選定しまして発生するせん断応力と支圧応力を評価するということを設計として考えていました。

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。
※３　一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:36:05	で、あ、すいません規制庁の方ですけどご説明わかるんですけども、本当にしないんですかねこれ。要は、ものからいくと、
0:36:15	ここで示されてる、この図の 6－1 でお示しいただいてる荷重がかかることによって、モーメントが発生して、
0:36:25	トラニオンの方は、この図でいうとおそらく左の方に行きたがるんですね。それを止めようとするのが本体だっていうことであれば、
0:36:35	当たるところと、例えば、この山があると左っ側にかかるっていうことで、右側には荷重かかんないですよねだから今、中津釣り合うというふうなことをご説明いただきましたけども、
0:36:48	実際どうなんですかねこういうところの、要は、シアツ支圧というか、目安というか、
0:36:57	普通、このねじとか何とかって、
0:37:01	藤。
0:37:02	一般的に、何をもってネジがやられるかで山が潰れるっていうことでせん断ニワば潰れるわけじゃないんですね。
0:37:10	ネジが山潰れると、かじってしまうか、ガバガバかかるかということなんで、ちょっとその辺をちょっと気にいたしました。特に大きな荷重がかかるフジイだというふうに認識しておりますので、
0:37:23	一応、先ほどのご説明で、せん断が支配的であれば、もうせん断支配的だっていうことを、少し簡単な計算で結構なんで、お示しいただくことは可能でしょうか。
0:37:39	日立GEの小林でございます。ご質問の意図をちょっと確認させてください。
0:37:49	発生する応力として、目地アマノ表面のみ発生する応力を評価した上で、この緑の断面に発生する応力の方が厳しいということを数値で、
0:38:03	シミズ佐伯というご質問でしょうか。それで結構です。わかりました。
0:38:09	よろしくお願いします。
0:38:12	規制庁の田野ですけど、ちょっと全体的な話にもなるんですけども、こちらコメントで示せって言っているのは申請書に書けっていうことですので、そこ、補足説明資料を出したから終わりっていうわけじゃないので、そこをご注意ください。
0:38:27	次の説明をお願いします。
0:38:33	はい。中部電力露木です。承知しました。
0:38:37	では、続いて何とNo. 7 の質問に、

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。
※３　一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:38:42	の解消させていただきます。コメントとしては、
0:38:45	まず、SGP型について 2.5 分の 1 スケールモデルの評価について、実施目的、傾斜角度の設定根拠についてオクすること。
0:38:56	また以降共通。
0:38:58	としますけれども一時衝撃と二次衝撃のエネルギー吸収比率を求めた上で、2 イソベにおいて緩衝体の扱いに伴う衝撃力が密封境界部に、
0:39:09	対応するとした、評価を行った上で加速での評価をすることの妥当性を示しております。
0:39:15	あります。
0:39:17	回答につきましては、
0:39:20	GDP方の
0:39:23	を代表として説明させていただきます。
0:39:29	としたGがですね、この
0:39:33	スケールモデルの試験をやっています。この目的につきましては、
0:39:41	このスケールモデル、あそこどう、
0:39:44	衛藤。
0:39:48	この姿勢モデルの落下させることで加速度を直接測定するということでございます。
0:39:55	ここでですねこの枠囲みここも、
0:39:59	特にマスキング単位ではありませんが、訂正書の中に、
0:40:04	記載させていただきます、弊社梶野密封呉付近に生じる虹衝突の加速度を水平落下の衝撃加速度と比較することで、本輸送容器に、
0:40:15	受ける水平落下に対する傾斜狩野加速度比を確認することを目的とします。
0:40:22	続いて角度につきましても、
0:40:27	ご指摘がありました。合同を設定している根拠ですけれども、これも事前解析により求めているものでございます。
0:40:37	これにつきましても枠囲みのところを資料に、申請書に追加させて、
0:40:43	一報をいただこうと考えています。9 メートルの高さから試験体底部が北川となるようにペアに対して 5° 傾斜させ、
0:40:51	床面との衝突時に、底部側が一条と小椋側に創造なりをやっぱさせる。
0:40:58	ここで事前解析により傾斜角度の衝撃加速度への影響確認し、
0:41:03	本事前解析の結果をもとに、落下試験での計算を選定した。

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。
※３　一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:41:10	はい。続いて次のページ、通し番号 11 ページになります。また以降の質問に対しての回答になりますが、ここにつきましては、
0:41:23	評価を行った上でというふうな目的でございますが、その評価を行うことの前提条件として、
0:41:32	が少し
0:41:34	二階が、
0:41:37	わからなかったところなので、少し確認させていただくところもちょっとあるかと思いますが、当社としましては、オオノ、
0:41:47	記載してある通りですね、
0:41:50	うん。
0:41:51	傾斜落下のようなですね二つの挙動を、
0:41:55	この
0:41:57	論文、ババの論文をす。
0:42:00	踏まえて、N評価するということが、少し困難ではないかと考えております。
0:42:07	ですので、
0:42:09	今回記載させていただいてる通り、傾斜落下の衝撃加速度、
0:42:17	使ってですね、評価をすると、いうことが適切ではないかと考えているところです。
0:42:25	説明は以上でございます。はい。はい。規制庁の方でございます。はい、ありがとうございます。
0:42:36	とですねまず 2.5 分の 1 の落下し、スケールホデ落下試験について確認をさせていただきたいと思うんですけれども、
0:42:47	ところ 0 ですね。
0:42:50	まず、Dた取得されたデータって、加速度だけなんですか、変形量とか、どうなのかとか、例えば、かなり精緻なモデルを
0:43:04	製作された上でですね、落下式が行われているというふうに
0:43:09	安全解析書の御説明からですね理解できるんですけれども、例えば、あわせて例えば蓋周りとかですね、密封装置周りの何だ、
0:43:24	例えば歪量とかね、そういうところは測定されて、
0:43:28	いないんでしょうか。
0:43:29	そういうところのデータっていうところは、
0:43:32	どのような状況なんでしょうか、ちょっと教えていただけますでしょうか。

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。
※３　一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:43:43	日立GEの講演してございます。ご指摘通りですね、試験体としてはかなり、2.5 分の 1 に精緻にモデル化したものを使う、それから測定したパラメーターはですね、ご指摘通り、
0:43:57	緩衝体の変形量を加速度に加えてですね、変形量も測定しています。
0:44:04	なぜどれぐらいつぶれたかということは確認しています。はい。もう一つご指摘にありました例えばフランチのところの、
0:44:12	ひずみについてはですね、社内的にはですね、取得はしております。
0:44:21	ただ、今回の評価にあたってはですね、
0:44:25	今回の評価といいますか、SARの申請情報を評価しているパラメーターが加速度、すなわち荷重ですので、
0:44:37	それを確認するということを目的として、測定をいたしましてこの申請書にそれを使って評価をしております。
0:44:48	はい、わかりました一応データとしては取得されているということで、そこはですね、その全体のシナリオの中でですね、可視されることなのか、これだけで十分なのかということはもう、こちらでそれ以上申し上げることはいたしませんが、
0:45:06	あとは、角度について事前に解析をおやりになったと、いうふうなご説明が今回いただいております。
0:45:16	けども、であれば、この辺りの事前解析の結果とかで、例えば何とか、例えばこの紙一番 7 ページの 7 ページ通しの 10 ページですね。
0:45:28	ここのところでこのような説明、影響を確認し、
0:45:33	し、解析をもとにっていうこと書いてあるんであれば、した結果、何とかだから、これこれだっていうことで、そういうふうな例えば、その事前解析の結果っていうことを過失することは、過失なりそのグラフでね、
0:45:50	横実、横軸に、
0:45:52	横軸に例えば、何か、
0:45:56	傾斜角度をとって、縦軸に最大加速度なのか、その辺を踏まえてですね、追記するということは可能ですか。
0:46:17	すいません 1 ヶ月間こちらで考えさせてくださいしばらくお待ちください。
0:46:30	できない子しか聞いてない。
0:46:32	ウダイナダしたくない。
0:46:38	現地確認。
0:46:44	クボ事業重視。
0:46:48	で、

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。
※３　一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:46:52	茨城、
0:46:55	楽しく面白いね。
0:46:59	中部のホームページに行きましょう。それ、質問し、
0:47:05	それでも日帰りかもしれない。いや、打ち合わせ時間を長くしとかいう形しか。
0:47:14	どうしても時間が中電力ツユキです。すいませんオガタきしました。
0:47:19	少し確認したところですね、この事前解析というのが、このスケールモデルに比べて少し簡易的な計算で当たり評価というような形でやっている。
0:47:32	程度のものという、
0:47:34	ことですので、ちょっとそれを、の値はもちろんあるんですけれども、申請書にそこまでのちょっと細かな対応を書くのは、適切ではないのかなというふうに考えているところでございます。
0:47:47	いかがでしょうか。規制庁ホデですけども、ちょっとそれだったらね、ちょっとどうなのかなと思います。
0:47:56	当然試験計画する時に、その辺はですね簡易であれどうであれ、9、決めていかないといけないし、実際それで何か多少実際やってずれたとすればですね、そっから、そのモデルに用いて事故解析をやるなりして、一番厳しいところ、
0:48:13	であって、要はこの試験は別に実証の目的ではなくて、要は挙動の把握と、解析、
0:48:20	何らかのその説明をする上でのね、検証例であるというふうな目的に変わってくると思うんですけども、その辺は説明のシナリオをよく踏まえた上でですね、どのように
0:48:31	記載されるかというのは、
0:48:34	お任せしますけど、一本筋の通った形で説明をつなげるようにしていただければと思います。以上です。
0:48:46	規制庁の丹野です。ちょっと素人質問で申し訳ない、教えていただきたいんですけれども。
0:48:53	その事前解析をやって、何て言うんですかね。
0:48:59	傾斜角を選定したということで、一番厳しいところでという話を試験をしてっていうことなんですけども、
0:49:10	後段直の文章そう繋がるか繋がらないのかとかもわからない上で、本当に申し訳ない質問になってしまうんですけども、

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。
※３　一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:49:19	この改定するときに、力の方法とかがちょっと変わるので、解析が難しいので、
0:49:26	試験の結果を使うんですっていうように見えていて、
0:49:30	それに対して前段では事前解析をやってこれ 1 個に絞りましたっていうのは、何かちょっと矛盾してるように見えるんですけれども。
0:49:41	傾斜角度一つっていうのが本当にこれが一番厳しい。
0:49:47	でしょうか。
0:49:49	というのをもうちょっと丁寧に説明し、していただけますか。
0:50:57	規制庁澤ですけどちょっとそちらで打ち合わせが必要だというところでしょうかね。聞こえてますか。
0:51:04	それは自分でツユキです。
0:51:06	今、失礼しました。ちょっと、もう少しちょっと考えさせてください。ちょっとお待ちください。はい。
0:51:14	建築、
0:51:17	14 時から打ち合わせが始まって、17、17、金曜日、
0:51:27	打ち合わせは名古屋駅、
0:51:30	会社数ということです。
0:51:33	岸辺。
0:51:39	そうでしょ。半分をCD良好にする中で抑制です。
0:51:45	すいませんこの人解析、組合、
0:51:51	繋がりにつきましては、補足させていただく形で考えますけれども、
0:51:59	記載の仕方につきましてはすみませんまた次回のヒアリングですみません説明させていただきたいと思います。
0:52:07	はい。
0:52:09	ですか。
0:52:10	うん。規制庁ホデです。はい。わかりました。で、後半のところなんですけども、こちら別にこんなんだっていうことをここ、
0:52:20	こんなんだっていう答え期待してる話ではなくてですね。
0:52:26	要は、試験まで終わりになってるんであれば、試験に基づいて、こういう挙動だなっていうことと、それを踏まえて、いかに、あと安全解析に転化し、安全解析っていうのは、
0:52:38	確かに挙動に基づく評価ではあるんですけども、その挙動に基づいて、こういうことやっとけば保守側だねということがわかる内容で、評価が進められていれば問題ないと。

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。
※３　一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:52:50	いうことで、前回の比較的簡単な考え方として、ドイツの論文とかその辺も参照してみたらいかがですかと。
0:53:01	どうですかね、CRUSHのすでに使われてる結果も、そこで出てる結果を用いて使われたらいかあ使われ使うやり方もあるのではないですかというつもりで、こちらから
0:53:16	申し上げただけ申し上げたということをちょっとご理解いただきたいと思います。
0:53:21	その上でですね、書かれて、今回ご説明いただいた内容をいろいろ読んでみると、
0:53:27	確かに
0:53:30	傾斜高っていろんなことがわかんないこと多いと思うんですけれども、
0:53:34	例えばここで言ういろんないろんな運動とか何とかの変化とかっていう話をしてしまえば、
0:53:40	例えば、実際の落下挙動を考えて垂直とか水平でも結構ですけれども、その挙動にしちゃって、例えば落下して、
0:53:50	実際は完全塑性体として、実際安全解析での手法というのは評価されてますけど、若干のはね上がりはありますし、当然、水平落下であれば、木目が必ずしもその落下フォールラインに対してね、
0:54:05	水平の１セットか、垂直であるという状態は全然保障されてないけれども、要は試験を踏まえて、あのような簡易的な考え方をしてやってますよということで、結局、土岐。
0:54:20	どういうかな、水平とか垂直食うとかはできるけども、傾斜落下はできないというのはちょっと、少し、もう少し
0:54:30	お考えいただければなというふうに思っております。
0:54:34	要はですね、ドイツの論文もこんなん一方的やというふうなことをお書きいただいてますけれども、一方的で何かをやってるだけだというふうにオカキー今回の見解で、
0:54:48	ご説明いただいておりますけれども、例えば、少なくとも傾斜落下と他の落下姿勢の違いっていうのは、一時衝撃と人衝撃のエネルギーの吸収が違うと。
0:55:00	いうことで、そのドイツの論文というのは回転速度というか衝突速度が出てくるということがあります。
0:55:08	評価も確かに非常にプリミティブな大学の教養課程のような、もう論理に基づいてやってあるかもしれませんけども、それぞれをそのキャスクの慣性モーメントとかですね、そういうものに置き換えていけば、

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。
※３　一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:55:24	それはおのずと、例えばその速度って大体これぐらいだよねと。
0:55:29	その時に持ってるエネルギーっていうのはもちろん、あれだから慣性モーメントと、それから角速度出せばそんなモデル話で、それから二次障壁として、例えば、
0:55:40	1 イデ、これぐらい当たるけども 2 回目これぐらい当たるんだから、これがこれぐらいの速度で当たるんだから、要は、要は例えば二次衝撃で上部の緩衝体がエネルギーを吸収しなきゃいけないのはこの程度の量ですねっていうのはわかると思うんですね。
0:55:58	であれば、そのエネルギーの吸収量に、エネルギーの吸収量っていうのは緩衝体の変形に依存しますから、そのエネルギーの吸収に相当する、例えば緩衝体の変形量って幾つですかっていうのは、もちろんこれは出ると思います。それあの、
0:56:12	要は本部のＡ－6 とかAの方でですね、エネルギーとエネルギーと、変形量の関係っていうのは当然をお示しいただいてますし、
0:56:22	それから基づく変形量と、要は緩衝体の悪化医療科目に基づく荷重ですね、これも出るようになるんだから、例えば、そう考えていけば、
0:56:34	例えばエネルギーがこれぐらい吸収すると、情報の緩衝体がそれを吸収するその時変形量これぐらいだ。
0:56:41	そのときに、じゃあ、どれぐらいの間、荷重が緩衝体の悪化によって発生するのかっていうのはすでにＡ－5 とかの 6 でもうすでにお示しいただいてる。
0:56:51	値だと思うんですね、その辺の値を使って、じゃあどれぐらい、じゃあ荷重がどれぐらいなのか、加速度加速度っていうふうなご説明をいただいてます。
0:57:02	説明いただいてますけれども、
0:57:04	加速度っていうのは必ず質量がないと、力にならないわけですから、加速度例えば一番ハタ加速度が発生したとしてもそこに 1 グラムしかかかってなかったら、荷重なんてのはごみみたいな荷重になるけども、
0:57:17	わずかなわずかな加速度でも、例えばかかるものを聞ければですね、
0:57:23	どうですかなという荷重としては大きいわけですね。で、
0:57:26	例えば、特に今密封境界の近傍について着目して話をしてますけども、そこの、そこの荷重って一体どうなってんのっていうことであれば、
0:57:36	ふようは緩衝体のアッカイを通じて、要はフランジに受ける荷重のはずですよね、別に本来の加速度伝って、しって運動であれば、要はキャスクを重要にキャスク、輸送物の重量に、その加速度をかければ、

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。
※３　一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:57:52	それが例えば釣り合って釣り合って、要は勘定担当がかかりますよっていうことで、それは理屈が通ると思うんですけども、ちょっとスラップダウンなんかのスラップダウン傾斜学科の場合にはちょっと違うような気がします。
0:58:07	だから、エネルギーからエネルギーから攻めエネルギーから考えてみてくださいと。先回申し上げたのは、そのようなステップを踏んですでにこれまでのご説明の中で、CRUSHでいろいろこう、
0:58:20	緩衝体の特性とかですねそういうものを評価されて、当然ここでこういう困難さがありますということは理解した上です。
0:58:28	ただ、そこでいろんな運動があるんだろうけども、例えばものとしては、要は仮定として、一時衝撃度に衝撃で吸収する。
0:58:39	その割合はこうですよということは、評価としてはね、可能ではないかなと、我々そう考えているんで、じゃあ、その
0:58:49	垂直ど、水、水が水平落下におけるそういう、そのような緩衝体の特性に基づいて評価をし、したら実際のそのでしかもそのフランジにどれぐらいの荷重がかかるということは水平落下の結果がすでにあるわけですから、
0:59:04	それに基づいて評価すればそれは可能ではないかなと考えて、
0:59:08	考えてこちらはせ、前回、事実確認として申し上げた次第です。従って、本当に、
0:59:16	不可能だカノウだというよりも、要は挙動を評価した上で、じゃあその挙動っていうのがちゃんと
0:59:24	ベンチマーキングでも結構です。それややられた上で、じゃあその考え方で使えるかどうかっていうことで、まずはその安全解析で、今まで説明した内容を踏まえた、
0:59:35	説明は可能かどうかというご午前といただいた上で、をし、要は何がしこの部分の健全だ、例えば、フランジに入ってくる荷重は、その加速度で1.3 倍見たものを、
0:59:47	を包絡するというふうな結果をお示しいただくことが、こちら、こちらとしては、それを
0:59:55	そのてそれを提示いただくことをこちら求めたということでございます。以上でございます。
1:00:09	それ電力筒井です。少し議論させていただきたいので、少しお待ちください。
1:00:27	今日は日立GEドイアビル。

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。
※３　一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

1:00:38	すいません。
1:00:39	要望が下手くそだ。
1:00:49	この海田スミダ。
1:00:52	ありがたい。
1:01:03	できることを考えてるっていう。
1:01:31	こんなこと言われるってわかるだろう。
1:02:06	頭ぐらいに 1 度悪化してくれない。
1:02:11	サンゴさん一緒で、皆で見ていこう。
1:02:16	ああ、
1:02:19	正しいっていう、
1:02:28	なんか、
1:02:29	ない。
1:02:31	うん。
1:02:32	いや、
1:02:32	変な話ですけど、ベンチマークがあるから、まあいいかっていう感じじゃないですか。本当にモデルが正しいかどうかって、どうしても駄目よみたいなコードを使ってる。
1:02:43	何かあった場合、
1:02:46	入力値。
1:02:49	何かないと。
1:02:51	計算はしたら出てきたっていう計算をしないとかねるんだけど、計算楽しいって減少してくださいって。
1:03:00	そうです。だって、これだってあれですよとか、
1:03:03	今うじゃうじゃ行って、
1:03:06	9 件の自分で言ってんだけど、うん。本当は、じゃあ、その試験やって事故解析でやって、本当に一番厳しいところを探した上で大事だなでやってください。
1:03:18	株が入ってるん。
1:03:21	経営者が供給者株。
1:03:23	下クドウオカベテラタ分ですけど。
1:03:26	僕だったら、
1:03:27	0 から 20 まで振って山ができて、コヤマのここをとれば、ちょっとちょっとずれちゃって問題ないんです。だから、そういう点であってね、そういえば中心で、

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。
※３　一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

1:03:40	実際の試験で、ゴトウじゃなくて僕は 5.5 って囲ったとしてもコヤマこのぐらいの場しかないんで、そんなにないんです。
1:03:58	中部電力露木です。すいません渡瀬で申し訳なかったです。
1:04:03	ちょっと議論した結果ですけれども、このおっしゃった通りの表カーにつきましてはすいませんやろうと思えばできるというような、
1:04:14	形ではございます。ただですね我々として考えていますのは、今、記載しているところは、
1:04:24	結構落た試験の結果を採用しているというところで、この事前解析
1:04:31	論文を含めたようなですね、評価をしたとしてもですね、
1:04:40	実際その挙動が
1:04:45	ですかね難しいし、ので、その不確定要素もあるので、落下試験をやって生のデータを採取したというところでありますので、
1:04:57	その結果を用いて、評価結果を記載するというのが、的ではないかというところで、防災、
1:05:08	すいません規制庁の方でですけども、今のご趣旨は、この試験結果を用いて
1:05:16	であれば加速度で説明されても、こちらは
1:05:22	そうですかとはちょっと言えないんですね、何が目的かということを考えていただきたいと思うんですけども。
1:05:29	最終的に大事なのは、確かにそれは中間結果であって、要は参事ウタなり水密性の観点からいけば二次蓋かもしれませんけども、
1:05:40	30 谷渋田がその辺が密封性を担保できる。要は、予想として、大きい荷重がかかるかもしれない姿勢と、
1:05:50	シバタで言われてるという言い方かもしれませんけども、ような状態に対して、要は技術基準に対して適合でき適合適合させるための説明がちゃんと繋がるというところなので、
1:06:03	もしその試験に基づいて加速度だけで勝負するというのではなく、例えばそうであればボルトのひずみとかですね、ふらアノ 2 人かかる、フランジのフランジにかかってるひずみがどうなってんのかとかですね。
1:06:16	その辺すべて説明していただいた上で、ご説明いただくというふうなことになろうかと思うんですけども、それからもう、逆に言うと、この解析事故解析やってぎりぎり、例えば動的な
1:06:29	解析で、すべて、これは共同が複雑だからこういうやり方やりましたっていうことでですね。要はこれ、

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。
※３　一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

1:06:38	このように. 5 分の 1 スケールモデルをベンチマーク問題としてですね、評価して、その評価が欲し保守的な結果が出るということをお示しいただいた上で、
1:06:49	その実機との同等性っていうこと、それを踏まえて実機でその同じやり方でやったらどうなるのっていうことまでお示しいただけるというふうに考えてよろしいですか。
1:07:00	その辺までの覚悟を持って、
1:07:03	データを出して、要はある、ある物理量だけ出してこれでOKよっていうことではなくって、これまで説明してる内容で、どのように判断してるかというのと、
1:07:14	同じ理屈で、同じロジックで説明することをまず考えていただきたいと思います。これはこの程度だからまあいいやっていうことは、基本的に安全解析ではねないと思っていただきたいと思います。以上です。
1:07:40	中部電力露木です。少々お待ちいただけますか、すいません。
1:07:47	磯。
1:08:03	今中部電力の加来田丸カミナガでしょ。
1:08:06	ちょっと、
1:08:08	大事だ、こう言ってる。
1:08:11	喜多知事は絶対そうな時間なんですよね。人たちはお金、時間もやりますよ。そうですね。
1:08:22	うん。勝負はヤノさっきってやるそうなんですよ。
1:08:29	皆さんおっしゃってるのは、果樹加速度を検索の全然箇所に、おんなじ割合でわかる言われても、
1:08:37	どうかってことですね。
1:08:39	で出てる加速度ってね、本当にそこに、そいつが受けてるね、ことを言的。
1:08:45	ちゃんと表してるね指標なのかっていうのは僕は疑問なんです。中部電力露木です。すいません趣旨は理解いたしましたので、すいません現時点でトクマルアノサイトウ。
1:08:58	用意できませんので、これにつきましても次回、いただいたコメントを踏まえて回答させていただくようにしたいと思います。
1:09:07	はい。よろしくお願いいたします。
1:09:16	社長様です引き続き中部電力からお願いします。

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。
※３　一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

1:09:21	はい。それで分析です。それでは次のページのナンバー8 のコメントの回答をさせていただきます。
1:09:28	コメントとしましては内部収納物の加速度増倍率についてJNES試験の範囲であることを記載すること。
1:09:35	とあります。回答としましては、代表して 1 字 1P型により、お示ししますが、記載の内容につきましては、定型型につきましても、
1:09:47	同等のストーリーでの説明で補足をさせて、補正をさせていただこうと考えております。
1:09:56	補正の内容としましては、2 パラグラフ目以降のところになります。
1:10:05	低下する、記載補正内容としましては、1 ポツ、垂直落下時の加速度割増係数の
1:10:12	2.6 の妥当性についてというところで、ここでは、垂直落下の丸橋ケースについて実験スケールモデルの
1:10:22	実際の生データをもとに、
1:10:27	評価した結果をお示しします。スケールモデルの
1:10:33	実際にですね取得したデータにつきましても、その
1:10:40	普通言っての、
1:10:45	通しでいうと 16 ページ以降のところで、加速度の測定点。
1:10:51	その最大値等
1:10:54	期待してございますのでここで取得した西大寺を用いて、比較するというような形で記載をさせていただきます。
1:11:05	考え方につきましては、水平落下の方、
1:11:09	ですね、本文に戻りますけど 43 ページの綴り水平落下での加速度IVASケース 1.2 の妥当性につきましても、同等に、
1:11:21	なります。試験結果をもとに評価して、
1:11:26	結果だというところを、発足で追加させていただこうと思っております。
1:11:32	以上です。はい。
1:11:33	規制庁のホデです。御説明のロジックはよくわかりました。
1:11:39	要は、実際、そ、そこで出てきてる、JNESの結果で出てきてる 2.6 と同じようなプロセスを踏んで、
1:11:49	ここで言う、今回の対象のものをやってやってみたら、そんなに
1:11:57	2.6 倍もなかったよと。
1:11:59	いうことを確認したよと。だから、2.6 を使うことは、星田だよという、ロジックというふうに理解しましたけどもそれでよろしいですか。

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。
※３　一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

1:12:09	中部電力露木です。はい。その通りでございます。わかりました。はい。これ、結構なんで、その辺が十分にもう実態としてそれぞれの
1:12:20	HB方TK方それぞれについてちゃんとその辺がわかる記載になっていれば結構だと思います。以上です。
1:12:30	規制庁の田村です。すいませんちょっと言葉の委員というかな、中身をちょっと教えてください。すいませんわからない。申し訳ないですけども、不開示情報のような高齢化の発見後イマセ申します。
1:12:44	と東芝の順番ペイジーの、2 ポツの真ん中ぐらいの、
1:12:50	GDPの 9BCH型はバスケットが[redacted]
1:13:01	[redacted]
1:13:13	[redacted]そういうことを言ってるんでしょうか。
1:13:29	[redacted]
1:13:33	[redacted]
1:13:44	[redacted]
1:13:49	[redacted]
1:13:54	規制庁様です。
1:13:57	推測なんですかね。事実なんですか。
1:14:01	そこをちょっとお聞きしたいなと。
1:14:04	[redacted]
1:14:11	ちょっとそこも併せて教えていただけないでしょうか。
1:14:18	教えていただけないでしょうかというか、その説明に残しこういう説明を、申請書に記載するんで、ちゃんとこういうふうに書いてくださいということなんですけども。
1:14:29	とりあえず今お答えをお聞きしたいと思います。
1:14:35	はい。日立GEの小林でございます。ここの趣旨はですね、
1:14:41	[redacted]

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。
※３　一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

1:14:47	[redacted]
1:15:00	[redacted]
1:15:06	[redacted]
1:15:13	[redacted]
1:15:23	[redacted]
1:15:39	規制庁サンゴですけれども、今の説明が先ほど、こういうところの意味は何ですかって言ったところと置き換わるような気がするんですけれども。
1:15:48	今ご説明いただいた内容だと、[redacted]
1:15:54	関係ない情報ですよね。
1:15:56	[redacted]
1:16:01	[redacted]
1:16:04	[redacted]どうなんですか。
1:16:14	私の理解はちょっと間違ってるんでしょう。
1:16:28	ご指摘通りですね。確かに、[redacted]
1:16:42	[redacted]
1:16:55	[redacted]
1:17:09	文言を書きました。ですので、その観点もしっかりと書くようにというご指示でしたらそこを掛け書くのかなと今思いました。
1:17:19	衛藤規制庁さんの指示というか説明がよくわからないのでもうちょっとわかりやすくしていただきたいというのが指示になるのかもしれませんけど、そういったコマタセガワっていう話であると。

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。
※３　一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

1:17:31	[redacted]
1:17:52	[redacted]
1:18:03	ていうのでお聞きしましたけど、
1:18:22	はい、事務局露木です。
1:18:24	そこに関しましては[redacted]
1:18:32	ございますので、
1:18:35	[redacted]一番ここで書いている趣旨ですけれども、
1:18:45	[redacted]
1:18:56	[redacted]
1:19:00	[redacted]
1:19:10	いうこと。
1:19:12	になります。
1:19:19	いや、衛藤健太さんの結果は、多分それで別に間違ってないと思うんですけど、その説明が何か。
1:19:27	変なように見えるんですけど、そこら辺じゃない。
1:19:31	ということでいいんですかね。私、よくわかんなくて申し訳ないんですけど。
1:19:35	それで、
1:19:41	一部宇津木です。少しわかりやすく、ここは修正させていただきます。
1:19:51	宇井です。すいませんなんか変なコメントをしてしまって申し訳ありませんけど、ちょっとウダタダイシイベッショ箕輪の審査、古宇川が専門的な知識を持ってみるってのはもちろんそうなんですけれども、
1:20:05	どういう申請書になってるのかっていうのは一般の方も、
1:20:10	いて、なんでこんな説明でいいんだっていうふうになったときに、こういうふうに判断しましたっていうところは我々がいるんですけども、それを改めて説明しようとするときに、何かちょっと文章の繋がりが悪かったりするとちょっと迷ってしまうので、

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。
※３　一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

1:20:25	そこは、わかりやすくということでよろしくお願いします。別に何か駄目とかって言ってるわけじゃないんで、そこが
1:20:33	注意をお願いいたします。
1:20:37	いいですか。すいません、規制庁の方でございます。
1:20:41	基本的なシナリオは先ほど申し上げました通りこれでよろしいかなと思うんですけれども、ちょっと確認だけ
1:20:52	というかちょっと教えていただきたいと言った方が良い、良いと思うんですけど、ここでやられた、これは、
1:21:03	CPタイプの方ですかねここで出てきてる、この御説明の中の
1:21:09	登用は 2.5 分の 1 の結果の、これは、
1:21:15	要は過去、過去路のところは、生、生値ですかこれはそれとも、実機換算の値なんですか。すみません、本文見たらわかる話かもしれませんけども、申し訳ございません。
1:21:31	例えば動の加速度はJNESの報告書の手法と同様に、最大で加速度である。何時とするっていうことなん。ここの値は、
1:21:45	試験をやりなった 2.5 分の 1 の
1:21:47	そのものということなんですかね。
1:21:53	はい。直前オクツユキです。この値に関しましては実験データの末ということで、後ろの方を生値ということですよね。
1:22:02	だから、要は、
1:22:05	同じやり方でスケールモデルではあるけれども求めましたというところで、
1:22:12	もう一つ気になるのは、先ほどの、先ほどのこちらの議論と同じような話で、
1:22:22	要は、
1:22:23	何に依存するかということと、
1:22:27	おそらくこの加速度の増倍っていうのは、ここで言うと、[redacted]という認識はしているんですけれども、
1:22:40	[redacted]っていうのは、スケール則が成立すると思っててよろしいんでしょうか。
1:22:49	これいつもちょっと悩ましいなと思っているんですけども、ここは、例えば 2.5 分の 1 であれば、当然実際の[redacted]の 2.5 分の 1 になるんで、
1:22:59	要は[redacted]はちっちゃいわけですね。

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。
※３　一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

1:23:03	となると、ちっちゃくなると、いわゆるここで言う、その遅れロッカーの効果っていうのは、大分時間遅れが、時間遅れがな、ない状態で 5 サンポずっと狂うんですけれども、
1:23:15	これはもうスケールモデルで実機にしたらこれぐらいになるんだけどっていうことで、次元解析とか何とかやったら、ここはスケールモデルを整理しますということでよろしいんでしたっけ。
1:23:27	それがわかるんであれば、そのスケール則がかくかくしかじかで成立することから、2.5 分の 1 の、こういう実験結果でというふうな、
1:23:38	ことをちょっと入れていただきたいなと思います。アノていうのは、やはりその辺が、
1:23:46	ちっちゃいやつ、実際の寸法はちっちゃいやつだから、この程度しか出てないんじゃないのっていう、着ではなくてそこはスケジュールでやったら実際こうなるんだっていうことがねはっきりわかるようにしていただきたいなと思います。
1:23:58	以上ですすいません。
1:24:15	はい。中部電力都築です。趣旨は理解しました。少し
1:24:20	こちらで議論させてください。
1:24:35	すいません、ちょっとカノウです。今、何らか、
1:24:38	コメントするのに対してそちらで今議論が必要だというこ状況があって、よろしいですか。
1:24:44	はいすいません少しお待ちください。申し訳ないです。
1:24:54	次回ある。
1:24:55	いや、まだ。
1:24:58	次回の神野。
1:25:00	今日回答されてない。
1:25:04	どうぞ。
1:25:07	もう 1 回、
1:25:12	じゃない。
1:25:14	持って欲しい。
1:25:24	長寿社会が見えるんだったら、それだけでいいと。はい。そういうことですね。
1:25:42	最後までちゃんと表示可能か。そうですね。
1:25:53	僕は大ナゴやれとは言ってないからね。
1:25:57	下は難しいかもしれない。

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。
※３　一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

1:26:02	継続っていうか、そういう使えない。
1:26:04	いやだから、
1:26:06	カセ、
1:26:07	これがこうなるからね。
1:26:09	普通はだから、
1:26:12	評価して、そのモデルと同じやつで、実機やって実機だったらこれぐらいだから、
1:26:18	ユキねそうそう実機でこれぐらいだから、
1:26:22	それでやったら、ほらほらこんな逆、こんなもんだし、全体の数もこれぐらい抑えられてるし、全然これによって変えてくれたら一番ありがたいんですけど。
1:26:30	はい。はい。
1:26:33	はい。
1:26:38	いやだから 2.5 のうち 2.5 分の 1 って書くから、
1:26:42	だ、1 人としてはいいですよ。だけど、そういうことがね。
1:26:49	金、
1:26:50	方として、
1:26:51	そう。
1:26:54	そこ、そこのね理論武装して、つくれないんだよ俺はそうするんですよね。
1:27:28	とりあえず、はい。終わらなくて、45 分でしょ。はい。
1:27:35	いいですか。
1:27:36	いいです。絶対これ残る。うん。
1:27:43	問い合わせ、面談を取られちゃう。
1:27:48	そのべき時は、
1:27:50	そもそも事業者、そういう負担を与えて、
1:27:55	行政、
1:27:58	両方両方。
1:28:02	同じわけないね。
1:28:10	イマセ。
1:28:13	現在、現在やってます。
1:28:16	いわゆる、
1:28:18	各通貨権者検診もできる。
1:28:26	中部電力清木です。

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。
※３　一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

1:28:28	すみません私しちゃって申し訳なかったんですけども、
1:28:34	スケールを食うに関しては、おそらく成立するとは思ってるところですけれども、その背御説明に関しましては、すいません次回、
1:28:46	少し整理して再度、
1:28:48	野瀬、
1:28:49	説明させていただきたいと思います。
1:28:53	お願いします。
1:28:55	引き続き、中部電力側からお願いします。
1:29:06	はい。中部電力都築です。それではですね、通し番号 19 ページの連立品の構造及びニイツ解析におけるモデル化と製作の方法は製造していることについて説明すること。
1:29:21	うんと言ってないと回答させていただきます。と同様のコメントが、京都で 1 次P型にもあるとは思いますけれども今回は、TK型のところで説明させていただきます。
1:29:36	地域型の
1:29:38	熱金の、及び中性子アイザワイノウエの組み立ての手順は、ここに記載されている通り、四つのステップで組み立てを行っていおります。
1:29:52	この結果ですけれども芸術品は、図の 1 の 11－2 に示すように、
1:30:01	なそういった構造としております。
1:30:08	それを踏まえてですね熱解析では、
1:30:14	配慮していることとして、ここの
1:30:18	枠囲いで書いていると。
1:30:20	ところですね、どうしてもBポツ 4 ポツ 1－1 に、
1:30:25	説明を補足でですね
1:30:29	追記をする形で、この前知久委員の施工方法に対してのこの熱解析への配慮というところを記載させていただくことを考えて、
1:30:40	ございます。
1:30:42	その下にですね政策の方向が整合していることというところ。
1:30:47	補足ですけれども、この製造時には、この接続状態が確保されていることについて全日検査では思っているというところ。
1:30:58	でございます。
1:31:00	はい。
1:31:01	大瀬。説明は以上になります。

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。
※３　一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

1:31:03	はい。規制庁澤ですありがとうございます。衛藤確認なんですけれども、
1:31:09	付加情報なのでちょっと後でマッチングをしますけれども、
1:31:15	[redacted]
1:31:17	[redacted]
1:31:23	[redacted]
1:31:29	[redacted]
1:31:32	[redacted]ていうそういう理由でいいですよね。
1:31:37	[redacted]
1:31:39	[redacted]もうこれで大丈夫だということでよろしいですか。
1:32:20	上野宇津木です。少しお待ちくださいすいません。
1:32:26	うん。
1:33:22	はい。諏訪中部電力ツユキでお待たせいたしました。コメントの趣旨としてはですね、[redacted]そういうところを確認をしていただいていると。
1:33:39	思います。それにつきましては、ちょっと次回ですねスーチーで評価して、
1:33:47	アノをし、お示ししたいと考えております。
1:33:50	いかがでしょうか。
1:33:52	[redacted]
1:34:01	[redacted]
1:34:05	[redacted]
1:34:06	[redacted]もうその結果が反映されてると思ってるんですけども、
1:34:13	その設定根拠が今確認できないからっていうことでよろしいですかね。
1:34:24	ボランチ上のカゲヤマです。
1:34:27	はい。今のご指摘に関してはですね[redacted]
1:34:32	ご指摘いただいた通りこの辺りの今度というのは概況がどうあれ、あまり変わらないということでありますけども、ちょっと数字的にお示しした方

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。
※３　一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

	がいいかなというふうに思いまして、ちょっと次回ご説明さしていただければ。
1:34:48	はい。規制庁さんのやつはわかりました。それと、ちょっとまだ念のための確認集めて申し訳ないんですけども、
1:34:55	[redacted]
1:35:03	[redacted]
1:35:05	[redacted]
1:35:16	あれなのか、それ、どういうあれですかね。
1:35:21	[redacted]
1:35:27	[redacted]
1:35:33	[redacted]
1:35:37	そこはどういう。
1:35:41	えっと夏井高山です。これ、[redacted]
1:35:45	[redacted]
1:35:50	[redacted]あ、ごめんなさい。
1:35:59	すいませんその[redacted]というような仮定を置いて、
1:36:09	はい。すいませんソネのためで申し訳ないんですけどそうすると、製作時にも、これ、[redacted]
1:36:17	[redacted]を確認するっていうこと。
1:36:21	ていうんですかね。組み立て後に、
1:36:32	何やってたりすると、ちょっとモデルと変わってくるのかなっていうような、
1:36:36	懸念がある。
1:36:37	そんなことはない。
1:36:42	秋田スギオカ木山です。
1:36:46	何言ってるというかですね[redacted]
1:36:55	この模式図のように、[redacted]この熱解析上の設定というのは、[redacted]
1:37:08	[redacted]

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。
※３　一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

1:37:18	設定しているものになります。
1:37:22	はい。規制庁サンゴでそうすると、検査には[redacted]を確認すれば、
1:37:28	モデルよりも保守的であるっていうふうになると考えてよろしいですか。
1:37:35	高山ですはい。
1:37:39	おっしゃる通りと考えます。ただ、ごめんなさいご説明の中でもありました通り、こちらについてはですね、税熱計算の時に、[redacted]を確認することで総合的に
1:37:55	田んぼというところを考えております。
1:37:58	見城さんねそうすると回答としては、組み立て時に見る検査これを判断するのではなくて別検査で、この
1:38:06	この所、この設計通りであることを判断するという回答でよろしい。
1:38:16	はい。中部電力セキでその通りでございます。
1:38:22	はい、わかりました。検査のやり方は自由なんで、そういう、そういう形で、そこでですね、規制庁さん、すいません。
1:38:34	と、
1:38:42	すみません、
1:38:44	なぜ、[redacted]とかっていうのがちゃんと入ってるんですかね。
1:38:50	マーキングしますけど[redacted]
1:38:55	[redacted]いうことでいいんですよね。
1:39:10	トランスニュークリアカゲヤマです。解析モデル上ですね今おっしゃってるのは該当との接触面だと思いますけども、解析モデル上はですねこちらの
1:39:20	[redacted]というふうにモデル化をしてますので、
1:39:33	戸梶モデル上は、[redacted]
1:39:41	規制庁高久アノ深井情報でマーキングしますけどちょっとよく、よく聞こえなかったんですけども、解析モデル上は、
1:39:48	[redacted]ていうことですか。
1:39:55	あまり関係ないですおっしゃる通りです。はい、わかりました。
1:40:03	と、すいません規制庁代わって、
1:40:06	1DPの方っていうのは、

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。
※３　一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

1:40:08	どういうあれになるんですかね、なんか。
1:40:27	中部営業部筒井です。それにつきましては
1:40:31	ナンバー10 の質問のところで回答させていただきます。実技の構造が異なりますので、同じようにまた、
1:40:39	図示等を踏まえてちょっと説明させていただこうと考えてます。
1:40:44	規制庁からすみませんちょっとよく聞こえなかったんですけど、どこで説明するっていうふうに、
1:40:50	ちょっと、
1:40:51	すいません今回この№.11 の説明、コメントですけれどもここアノコウツチヤ呉%が 10 番なので 10 番のところでやるので、今日はその内容は何も言わないというそういう理解でよろしいですか。
1:41:16	中部電力露木です。すいません
1:41:19	次回とさせてください。
1:41:25	はい。社長からわかりました引き続きであって、よろしいですか。
1:41:29	引き続き中部電力側からお願いします。
1:41:34	はい、中部電力中期です。それではナンバー13 のコメント、遮へいライブラリについてジェンドル算定山を使用しても、技術上の基準に適合することを示すこと。
1:41:46	ミツイっての回答を説明させていただきます。
1:41:51	今回の回答は、
1:41:54	結果も含めてですけども、PPA型、
1:41:57	まずはご設定回答させていただきます。
1:42:03	ライブラリーの
1:42:06	違いによると、
1:42:08	結果ですけれども、
1:42:12	以前野瀬 2016 年のコメント回答で、MCNPコードを使った解析結果をお示ししております。
1:42:22	このMMCNPコードでは、ライブラリーが全部算定差を使ってございますので、その結果と、と比べた。
1:42:33	記載を少し補足させていただこうと考えてます。
1:42:39	補足
1:42:41	補セイノで追加する内容でございますが、
1:42:44	昆氏、
1:42:45	資料 2 と通し番号 21 ページの、

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。
※３　一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

1:42:48	スターのところですね、銅賞Dの 4 ポツ 1 のところで、この網掛け部、
1:42:56	Aとまずは記載させていただいて、
1:42:59	その後、そのDの 6 ポツ 3、
1:43:02	附属書類のところで、
1:43:04	詳細に説明します。次ページのT22 ページ。
1:43:09	が、別紙 1 としていますが、ここが補正申請。
1:43:15	案でございます。
1:43:17	江田ミツイ断面セキ依頼分について、
1:43:21	DOT3.5 コードと、Ds23 で組み合わせたトラニオンの結果と、MCNPボードの全部 3.3 億。
1:43:31	使用したトラニオン分の解析の。
1:43:34	策を記載させていただきます。
1:43:38	ちょっとすいません、少し説明が漏れますけれども、ここでトラニオンの評価を記載する趣旨としましては、この
1:43:50	ライブラリーのサーも含めてですけれども、遮へい評価上、割と最も厳しいところが欄 4 部、
1:43:59	でございますので、トラニオン部の、
1:44:02	評価をAと比較すれば、技術基準上の適合性を確認できると考えたものになります。
1:44:11	で、負債内容の 1 ポツ、ジェンドル 3.3 を使用した解析における解析条件としまして、記載の差異について、
1:44:21	こちらへと三つのポツで記載をしてございます。MCNPコードを使用しておりますので、計上として、
1:44:32	リース形状に近いようなモデルを組んで計算をしてございます。
1:44:38	(2)番減資す。
1:44:40	個数密度についてもどう、これについては、同じものを用いてございます。
1:44:48	評価点とエネルギースペクトルについてはSoとか、詳細説明を少し割愛させていただきます。
1:44:56	結果につきましては、
1:44:58	2 枚、
1:45:01	今言えない。
1:45:03	通し番号 26 ページに記載してございます。このD－1 表のところ、
1:45:10	でございますが、左側にMCNPコードの結果、合計として、270。

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。
※３　一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

1:45:17	これに対しまして、ロットAFC23 の結果が、279.8 ということで、同等の結果が、
1:45:28	出てございます。
1:45:30	兜乱用は図その下に絵で結果がございますが、これにつきましても、同等の結果でございます。
1:45:38	以上をもちまして、
1:45:42	ちょっと開発解析コードは年変わってしまいますが、ジェンドル神戸さんを用いた結果、
1:45:52	においても、技術評定の基準に適合していると考えてございます。
1:45:57	説明は以上になります。
1:45:59	規制庁サンゴです少々お待ちください。
1:46:03	これ、
1:46:04	江藤主務が、だったらこれ、これね、厳密な話すると、MCNPのMCNPによるトラニオン周りの詳細解析をやったらこうなりました、保守的にはジェンドルをやりましたっていう評価、これ。
1:46:18	だと思うんですよ。だから、これ聞いてることと違ってて、
1:46:23	だから、もし、
1:46:25	だったらこれMCNPの評価の妥当性全部見えるって話になっちゃうから、どうするかなっていうのは、だけど、NC
1:46:33	で全部やれば、
1:46:36	そう思いますけど。
1:46:37	いやだから、イシイ＝1 だから、どう指導します。僕は要は、質問したことに対して、
1:46:49	前やってるからこれで説明しときゃいいやっていうような感じで思ったけども、こっちで聞いてるのはあくまでも、
1:46:56	ここで、要はそのシナリオのメインとしては、輸送計算コードを使って、要はそのPLC23 年通してやってるけども、その場合によってはそこは、JRの方が、
1:47:10	要はJNCに対して、JCの欠陥があるところに対して地元でやったらどうですかそれでも入ることを確認してくださいっていう、聞いたつもりだから、本当は同じモデルで、NECの蟹江とるでクボて欲しいなと。
1:47:22	それ同じモデルでやって、はい。すいません。
1:47:31	規制庁の方でですけども、
1:47:34	聞こえますか。

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。
※３　一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

1:47:36	はい。渋谷奥津駅ですって。
1:47:40	御説明はこれ多分以前、以前の初回の申請の時にいろいろこういう議論があったということは、理解いたしましたけども、
1:47:49	この説明だとね、要は、ある程度現実的なもの最新のものを使ったらどうなりますかっていうことだと思うんですね。
1:48:01	ということで、要はコード、要はライブラリーは違うけどコードも違うっていう話でね、あくまでも申請申請書のメインのシナリオっていうのは、
1:48:13	要は 2 次元のDOTなり何なりで、そこを逃げるし 23 でやりましたってのがずっと通ってて、
1:48:21	そこに対して懸念があるところはこういうところですよということですから、要は、その隣の部分だけでいいですから、MCNPの評価の代わりにね、DOTでね。
1:48:31	DOTで、要は、ここのマトリックス、
1:48:36	頭スリム化なの、コードでやった結果を示していただいてそれで大丈夫よということで、例えばそれであれば説明としては、さっき
1:48:48	このように本文で書きたいなっていうことの説明になると思うんですね。
1:48:53	ですから、ちょっとそのMCNPの結果を持ち出すっていうよりも、ここはDOTで、この部分で結構ですから、比較した結果をお示しいただきたいと考えます。以上です。
1:49:09	はい。中部電力露木です。
1:49:12	ツツミご質問のご指摘の趣旨は、すいません留職してるところでございますけれども、すいません現在そのドッ等に関しての手持ちのデータがないというところと、この. 3.5 というコード自体が、
1:49:29	メーカーの方でも、今は、
1:49:32	メインで使うことではないというところもありまして、
1:49:38	これ再解析をして、
1:49:41	評価するという。
1:49:43	所。
1:49:44	そこまであとそういうふうにする必要があるというふうなご指摘というふうに受けとめている。
1:49:53	よろしいでしょうか。
1:49:55	であれば最新のやつで二つやったらいいじゃないですか。
1:49:59	PLC23 と、これDOT3.5 が、何ですかこれ、どうとか何かでやるということですか。

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。
※３　一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

1:50:10	要は輸送計算と輸送計算とそのライブラリの組み合わせに対して、要は、安西主任とするいう議員ところに対して、最新のものでやったらどうですか。
1:50:21	最新のものでやっても入ることを確認してくださいなんていうことをこちら申し上げてるんだから、それに対して、もう素直に答えていただければ結構です。以上です。
1:50:30	規制庁のサンゴですけどちょっと補足しますと、その名倉が右あってど、大丈夫なんですかっていうところに対して、
1:50:40	AはこのコールでBは別の、また違う項目ってやると、ちょっと比較ができ、難しいと思うんですね。比較対象する種類が何か三つ以上になると、ちょっと難しいなと。
1:50:54	いう意味で、その解析コードをそろえてライブラリーが、その何ていうんすかね。ちょっと私も、計算コードの仕組みってよくわかってなくて申し訳ないんですけども、
1:51:05	ライブラリーが違うっていうのを比較するのか、そのコードの違いによる結果を比較してるのかっていうのがわからないので、
1:51:15	それをわかるように説明していただくのかなと思うんですけれども、多分今答えは出ないと思いますんでちょっと、
1:51:22	どういうふうに説明できるのか、考えていただきたいと思います。
1:51:26	追加をしてその評価点を、トラニオン分なんですっていうところを、なぜとランニング評価すれば良いのかっていう説明、途中でおっしゃられていたんですけれども今、
1:51:39	記載の中には入ってませんので、これを見るこれを、その部分を比較すれば、全部費、
1:51:46	幾何比較しなくてももう代表できるっていうような説明をちょっと加えていただきたいと思います。
1:51:54	検証はですねどうでしょうか。
1:51:57	はい、磯部横関です。トトラなぜとらに合うかというところは、すいません
1:52:03	通し番号 21 ページの回答の、
1:52:06	2 段落目のところで、少し記載しておるんですけれども、補正案としてそのあたり抜けていますので、ちょっと補足する形で考えて、
1:52:16	ございますのでよろしくお願いします。

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。
※３　一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

1:52:19	でも覚えて最初のご指摘のあったところですねやっぱコードを変えると違いがわからないというところで、んつきましてはおっしゃる通りなんですけれども、
1:52:32	それにつきましてはまずはどうして取られるんかというところを示した上でですね、次、
1:52:40	再度、
1:52:42	実際に見たいのはですねそのライブラリの差でどういうふうに変化するのかっていうのが、それを、
1:52:50	行動をそろえてみたいというところなのか、適合性を確認したいのかというところ。
1:52:57	なのかなと思っておりますので、
1:53:02	当社としましてはまずはこの
1:53:04	一番厳しくなるだろうというところで、確認をすれば、
1:53:12	まずは
1:53:14	説明ができるのかなと思っていましてちょっとこの資料を作っております。
1:53:21	はい。以上になります。
1:53:26	規制庁、佐渡です。
1:53:29	ちょっと確認させていただきたいんですけども、
1:53:31	私も
1:53:34	詳しくなくても、ちょっと的外れになってしまうところ申し訳ないんですけれども、
1:53:39	今、
1:53:42	申請書内で使われてるライブラリーっていうのは条件によっては一部非保守的な値が出る。
1:53:50	ていう、
1:53:52	ことで、
1:53:56	一番、
1:53:58	厳しいところがもしそういった条件で出された数字だと、適合してないんじゃないかという懸念があって多分初回申請の時にはそういう説明をし、
1:54:06	そういう説明になってる。
1:54:08	ていうところ。
1:54:09	まずよろしい。

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。
※３　一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

1:54:11	よね。そちら説明。
1:54:14	ていうのは、
1:54:17	ライブラリーを比較するわけではなくて、
1:54:21	基準適合してるかどうかっていうのを示す上では、
1:54:26	もし今示している数字が非保守的だったとしても、そうではない確認をしてあるので、問題ないんです。
1:54:36	ていうシナリオだ。
1:54:38	あれ。
1:54:41	はい、鶴露木です。はい。その通りでございます。
1:54:49	衛藤。
1:54:52	ちょっと単純な疑問なんですけども、そうしたときに、その比較したときの状態の、
1:54:59	何ていうんですかね、
1:55:03	もので、全部変えてキーをしない理由っていうのは、何か
1:55:14	中部電力露木です。それにつきましては
1:55:18	現在トライのところのデータを、初回の時に確認しておりましてそれしかすみません、手元にないというところが、
1:55:27	減数ですので、ただ、そこの評価点につきましては最大値となるだろうというところですので、解析をまわし直してすべて、
1:55:38	増加する。
1:55:40	というところまでは、必要、不要ではないかと今考えてるところですっていうときちょっとあるんですけれども兼用キャスクということで、常に最新の知見を反映していくっていうふうに宣言をしておられたと思うんですけれども、
1:55:55	お礼
1:55:57	COするコードを見直さないっていう。
1:56:01	何、どういうあれなんですかね、何か。
1:56:06	中部電力の姿勢というか、
1:56:10	常に見直しをしていく議論じゃない。
1:56:13	ですかと思い、
1:56:15	んですけど。
1:56:17	ここは見直しませんよ。
1:56:20	新しいことはわかっていろいろ言われたけれども、
1:56:24	やり直しません。

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。
※３　一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

1:56:33	という、
1:56:37	何というんですか、ちょっと確固たる信念があって、
1:56:41	見直さないという。
1:56:43	なんでなんでしょうか。
1:56:47	もちろんですね、いや、一部非保守性があったとしても、今の解析に使ってるものの方が素晴らしいものであるっていう説明があるんであればわかる。
1:56:58	ですけども、そういったところも今説明されてませんので、
1:57:03	ここはちょっと、
1:57:05	教えていただけない。
1:57:13	はい。注力ツユキです。
1:57:15	ご指摘のことも踏まえてですね今後ちょっとこの見直しについては、少し検討した意見として、再度ご説明させていただきたいと思っています。
1:57:30	はい。衛藤区長田丸です。すいませんちょっとよくわからない質問になってしまって申し訳ない。おっしゃったような気もするんですけど。
1:57:42	ついちょっと主、説明をしていただけるというふうにあれば、よろしくお願いします。
1:57:49	それで、ちょっと大変申し訳ないんですけれどもちょっと 12Gに近づいてきておりまして、内容残っておるんですけれども、一旦今日の面談を終わりたいと思います。
1:58:05	よろしいでしょうか。よろしいでしょうかと言っても何か終わる。
1:58:08	ていうぐらい、ナカセないと思うんですけども、拝聴しました。
1:58:14	ちょっとすみませんこれはそちらにご迷惑をおかけしないという意味も含めてですね一般的に 12 時からはお昼の休憩時間ということでここで切らせていただきたいと思います。
1:58:25	衛藤次回の日程とカーっていうのを、残りもありますし、できたところからまたやっていくとは思うんですけども、
1:58:34	いつできますというところをまた後でご連絡いただくのと、その際にですね、この状況というところ、
1:58:43	もう今の状況、新しい条件として考えの中に入れて、3 月上旬補正というのがどういう、
1:58:54	めどになるのかっていうところも、合わせて後でご連絡いただければと思います。

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。
※３　一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

1:59:01	あと、すいません、終わりになるんですけども、今ここ、今この時間でここで言っておかなければいけないということがあれば中部電力側から、
1:59:10	何かあれば、
1:59:13	ツユキです。特にございません。
1:59:17	はい。規制庁の田岡です。大変申し訳ないんですけどちょっと時間中に掛けてしまって申し訳ないんですけれども、本日のヒアリング中部電力株式会社とのヒアリングをこれで終了いたします。
1:59:30	ありがとうございました。ありがとうございました。
1:59:34	はい、ありがとうございました。

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。
※３　一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。